2020(令和2)年度

# 事　業　計　画　書

2020(令和2)年4月　1日より

2021(令和3)年3月31日まで

学校法人　九州ルーテル学院

# 目 次

学院基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．２

大学事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．３～

大学付属黒髪乳児保育園事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．６～

中学 ・ 高等学校事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ．８～

認定こども園事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ．１０～

法人運営計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１２～

部署別目標一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１５

学院組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１６

法人組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１７

教職員組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１８

園児･生徒･学生数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１９

年間行事予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．２０～

# 2020 年度　学院基本方針

九州ルーテル学院は、1926 年、日本福音ルーテル教会より任命された初代院長マーサ・B・エカードにより創立され、今年で創立 94 年目を迎える。

創立以来、キリスト教学校として、学院聖句である「わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである」（ヨハネ・10・10）に基づいたスクールモットーである「感恩奉仕」のもと、「生かされていることを神さまに感謝し、世と人に役立つ人」を目指す教育を行ってきた。それは、それぞれの置かれた場で社会を支える「地の塩、世の光」となる人材を育てることでもある。

しかし教育界とりわけ学院を取り巻く状況は、厳しさを増している。少子化の進展に伴う競争の激化、「私学法の改正」、大学入試制度改革及び中高校に置ける「探究」「プログラミング学習」など新学習指導要領への対応等、ますます多様化する教育ニーズや社会的ニーズへの対応という課題に直面している。

このような状況下にあって、学院全体で危機感を共有し、学生・生徒・園児はもとより保護者や地域社会の期待に応えるために、幼・中・高・大の連携、特に高大接続が求められている。そのためには情報の共有化や教研などを通して、各学校の特徴を活かした教育内容の深化に努力したいし、そのための教育環境の整備・充実にも努力したい。

また創立 100 周年及びそれ以降を見据えた中長期計画を立て、そのもとで学院の方向性を示していく必要がある。そのためにも創立 100 周年の事業委員会を組織し、そのもとで取組身を進めたい。

1.　創立 100 周年記念事業への取り組みを開始する
2.　教育制度改革に向けた取り組みを行う。
   a. 教職員協働による組織力の強化
      ア. キリスト教教育の充実、キリスト教行事や礼拝への参加・協力
      イ. 幼・中・高・大の連携の強化、特に高大接続の推進を更に進める。
      ウ. FD・SD（教職員の専門的能力の向上）、研修等によるスキルアップへの取り組み。
   b. 教育環境の整備
      ア.　ICT 教育の環境整備・老朽化に伴う改修
   c. 広報活動を強化し、積極的な情報開示、情報の受発信
3. 働き方改革への取り組みを進める。
4. 募集力の強化に努める。
5. ステーク・ホルダーとの連携
   a. 保護者、同窓会、教会関係等の外部関係団体との連携
   b. 学院モニター等による外部評価の実施

以上を方針としながら各部門の事業計画達成を目指す。

# ２０２０ 年度　大学事業計画

今年度より第 2 期中期計画「九州ルーテル学院大学ビジョン2020」がスタートする。本来であれば第 1 期中期計画「ビジョン2014」終了後の 2021 年度開始となるが、私立学校法の改正により、学校法人に対して 2020 年度から中期計画の策定が求められたことによる。本学においては、2022 年度の認証評価受審も見据えて、以下に掲げる8つのビジョンの下に策定した中期計画に基づき、各年度計画を着実に進めていく。

今年度から副学長 2 名（教務担当、学生支援・学生募集担当）および学長補佐 3 名（研究・地域連携・広報担当、点検・評価担当、教学 IR 担当）、事務組織として学長室を置き、教学ガバナンスの強化を図る。

1. ビジョンⅠ（人間形成）

1）建学の精神・理念の具現化、めざす人材像の育成

・礼拝、ボランティア活動、地域貢献活動などの活性化

2. ビジョンⅡ（教育）

1）学修者本位の教育の実現

・教育・学修成果の可視化、成績評価の信頼性の確保

2）3つの方針を通じた学修目標の具体化

3）共通教育科目の充実

3. ビジョンⅢ（学生の受け入れ）

1）入学選抜制度の根本的見直し、中期戦略の策定

2）学生募集関連活動の充実

・オープンキャンパス、高校訪問、出張講座などの見直し

・ホームページ等、各種媒体の見直しによる発信力の強化

3）ルーテル高校との高大連携の推進

・連携プログラム「キャンパス Visit ＆Try」の活性化、英語教育での連携

4. ビジョンⅣ（学生支援）

1）キャリア支援・就職支援の見直し

2）障がいのある学生支援の充実

・熊本大学等と連携した遠隔操作によるパソコンテイクの相互利用など

3）学修・生活支援の充実

・学生の意見（Student voice 委員会、学生自治会）を反映した支援の充実

5. ビジョンⅤ（研究）

1）学科間の垣根を超えた研究の推進による新たな拠点の形成

・現場と連携した異職種間協働の研究、「フィンランドの社会」をテーマとする研究など

2）学外との共同研究の推進

6. ビジョンⅥ（国際理解）

1）グローバルセンターの活性化

・異文化理解推進の拠点として（ルーテル中・高、地域企業との連携も含む）

2）学生の留学・異文化体験学修、海外ボランティア学修の充実

・プログラムの充実と支援の強化

3）留学生の受け入れ体制整備

・入試制度、交換留学制度の再構築、英語表記の充実

7. ビジョンⅦ（地域貢献）

1）地域社会の知的基盤としての地域貢献活動の充実

・学外にも展開できる公開講座の充実

・連携協定による事業（合志市、菊陽町、菊池市等）の充実と新規連携プログラム（男女共同参画センターはあもにい等）の開始

2）学生団体や大学諸施設を活用した地域貢献活動の充実

8. ビジョンⅧ（経営基盤）

1）経営ガバナンスの強化（大学運営）

・学長補佐体制の整備と実質化

・学科再編等の将来計画を見据えた教員の配置とポスト管理

・職員の資質・専門性の高度化による学修支援力の強化

2）財政基盤の安定化

・学長裁量経費の有効活用など

3）教育研究環境整備計画

・学生等の要望を踏まえたキャンパスマスタープランの策定

・図書館・情報支援室等の学修環境の整備

4）卒業生との連携

・ホームカミングデイの開催（第 1 回卒業生を送り出して 20 年の節目）

9. 自己点検・評価

1）第 1 期中期計画「ビジョン2014」の最終総括

2）内部質保証推進体制の強化

・教育の質保証を始めとする教育研究活動等の質向上

3）外部評価の実施（大学基準協会による認証評価の 2022 年度受審に向けて）

10. その他

1）積極的な広報活動（ルーテルブランドの確立）

2）危機管理・法令遵守

・リスク管理・労務管理体制の整備・実施など

# 2020 年度　黒髪乳児保育園事業計画

## 1.　園児数について

（ア）新年度は 39 名（予定）でスタートする。昨年度は市外転居のための転園や3歳児の卒園を待たずに転園希望者の増加があった。

表1　園児数推移（人）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018年度 | 47 | 48 | 49 | 51 | 54 | 51 | 51 | 51 | 53 | 54 | 54 | 54 |
| 2019年度 | 39 | 41 | 41 | 42 | 43 | 44 | 44 | 43 | 41 | 41 | 41 | 41 |
| 2020年度 | 39 | 39 | 40 | 41 | 41 | 44 | 45 | 46 | 47 | 47 | 49 | 50 |

（イ）園児数の推移予測を以下に示す。

①　0、1歳児を中心に園児募集に取り組んでいく。目標数は 50 名である。（保育士不足のため園児の受け入れができない状況がある。）

②　3 歳児の卒園後の進路について、ルーテル学院幼稚園との連携及び保育園連盟加盟園案内冊子を配布し保護者との連携に取り組んでいく。

③

## 2. 園内研修について

（ア）保育士及びその他専門職の質の向上を図るために、体系的、継続的な園内研修を行う。園内研修の具体的な取組を以下に示す。（毎月 1 回全職員参加）

①　職能別研修・・・付属園理念・方針の共通理解を図るための研修、接遇・マナー研修、保育リスクマネジメント研修、保護者支援研修など

②　階層別研修・・・リーダー研修、中堅職員研修など

③　キリスト教保育研修・・・2020 年度からはじめるキリスト教保育について牧師による勉強会及びキリスト教保育園連盟等研修に参加し学びを重ねていく。

（イ）上記研修内容については、園内研修委員会（リーダーは主任保育士）が計画し実施する

## 3.　保育内容について

（ア）全体的な計画（保育課程）を再検討し、黒髪乳児保育園の特色を反映した指導計画、保健計画、食育計画を作成し保育実践ができるようにする。

（イ） 保育士１人１人が根拠のある保育実践ができるようにする。
（ウ） 保育士が同僚性を発揮し、共通理解のもとに保育実践ができるようにする。
（エ） 特別支援コーディネーターと地域専門機関及び病院との連携による特別支援と支援計画の充実
（オ） キリスト教保育の推進（祈りへのいざない）
（カ） 大学施設（チャペル、体育館）利用の園外保育の充実

**４. 保護者連携の充実**

（ア） 食育（離乳食、幼児食の料理教室、給食試食会）を通して保護者同士の育児情報交換を深める。
（イ） 個人面談の充実（各家庭に寄り添った対応）年2回，支援家庭においては月1回

**５. 転園、卒園後の連携**

（ア）“子どもの育ちを支える”資料の送付。卒園後は連携による施設訪問実施。

**６. 外国籍家庭の支援**

（ア） 書類の英語表記の拡大と宗教食に対する年齢別の細かな食事指導（離乳食の進め方等）

# 2020 年度　中学・高校　事業計画

1.「生徒・保護者・地域に信頼される学校作りの強化」

生徒・保護者による中高の教育活動に対するアンケートを見ると、残念ながらその期待に応えられていない現状がある。そこで昨年度末には、それぞれの教師が教育の原点に立ち返るための研修会を計画実施した。それが本当に活かされるため、2020 年度は教学面の各分野においての具体的計画としている。学院の教育に対する生徒・保護者の信頼が高まることが地域による信頼を生み、応募者の増加にもつながると考えている。

2. 学校の基本目標

・「来て良かった（在校生）」「やって良かった（保護者）」「出て良かった（卒業生）」「働いて良かった（教職員）」学校を目指す。そのために生徒の「居場所」を設けることと「出番」を与えることに努力する。

3. 具体的事業計画

(1)施設計画

① プール建設及び体育館の改装

② ①も含めた 100 周年以降に向けての設備に関する将来計画の立案

(2)教学面

①キリスト教教育の充実

a.「感恩奉仕」に示される建学の精神と教育理念を基にしたキリスト教教育の充実をはかる。

b. 研修会等を通じての教職員の教育力向上に努力する。

②校務運営の充実

a. 教職員間での情報共有と行動連携を測り、組織力を高める。

b. ルーテル中高が抱える課題を明らかにし、解決するための教研を計画的に実施する。

③「2020 年度以降の大学入試改革・新学習指導要領」への対応と進路保障に取り組む。

a.「プログラミング」、「探究」などの新教科を通じて学校改革につなげる。

b. 生徒の参加型授業等を中心にした学習指導（教科指導）を通じ、授業力、担任力などの教師のスキルアップに努力する。

④生徒が将来社会を支える人材へと育つために、自己コントロール力・表現力・対応力・

忍耐力等の育成に努力する。

a. 様々な機会を通し、生徒が自ら考え行動できる力を育む。

b. 他の人たちと協力して課題に立ち向かうコミュニケーション力を育む。

⑤いじめの防止や特別支援教育の充実に更に努力する。

a. いじめ事案等には適切な対応を図り、またその防止のためにも他への思いやりの心を育てるよう努力する。

b. 発達障がい等の特別支援への組織的取り組みを継続する。

c. 不登校等による進路変更への対策を組織的に取り組む。

⑥生徒募集活動の強化を図る。

a. 綜合コース、特進コースや芸術コース等の教育内容を実態に即して見直し、生徒の満足度を高め、結果としての定員充足につながるよう努力する。

b. 学院全体の教育を見直し、ルーテルらしい特色ある教育に取り組む。また募集活動にも力を入れる。

c. ホームページ等の更新など外部への発信力を高める。

⑦国際交流プログラム等を充実させる。

a. 全州新興高校(韓国):8月に研修旅行を実施。両校で教師交換の機会も検討する。

b. インマヌエル・カレッジ(豪州)・オークグローブ高校(米国)等との交換留学制度と短期研修の充実を図る。

c. 上記に加え、アメリカ・メイヤー高校や台湾の大学との連携も検討する。

⑧中高大の連携、高大接続への具体的に取り組む

a. 幼中高大の連携を具体的な教育プログラムを考え、取り組みを行う。

b. 高大接続を拡大、強化する。

# 2020年度認定こども園　ルーテル学院幼稚園事業計画

## Ⅰ.認定こども園　ルーテル学院幼稚園の保育教育目標

**「神と人から愛され、ただしい、あかるく、げんきなこどもになろう」**

目指す子どもの姿

①神様から与えられた「いのち」を尊ぶ

②心身ともに健康で、大切な一人であることを実感するこども

③自我の芽生えと探求心をもって遊びこむこども

④友だちと一緒にいきるこども（みんなちがって、みんないい）

⑤感じたこと・思ったことを表現できるこども

目指す保育者・職員の姿

・神様に生かされていることを実感し、感謝する保育者、職員（礼拝の尊守）を目指す。

・愛といつくしみの保育を大切にする

・保育の基本と保育者に求められる専門性を磨く（研修の充実）

・こどもと保護者を尊び、心から愛する保育者、職員

・協力し・学び・お互いに高めあう保育者、職員

## Ⅱ2020年度重点保育・教育目標

年 主 題:『こころが満たされる』

主題聖句:よろこびと平和とであなたがたを満たす（ローマの信徒への手紙15章 13 節）

◎乳幼児保育・教育の充実をはかり、子どもたちのそれぞれの月齢・年齢・発達に見合った育ちを丁寧に保障し、生活の中の豊かな体験を通して、様々な力を培われて成長するこども。

◎遊びこむ子どもと環境作り

◎質の高い教育・保育を目指す

◎『保育教育要領』『キリスト教保育指針』を基に、領域や10の姿を明確に推進する

◎園内研修の計画と立案　【県私幼推奨の研修と実践、保育者の質を高める学びⅠ】

◎「食育」を通して健康な体つくりを目指す。

## Ⅲ. 具体的な保育・教育計画と研修計画

1） 教職員の技能・経験・専門性を高める研修・キャリアアップ研修の計画の充実
分野別【】人権学習・教育保育課程・理論・特別支援・食育アレルギー・保健衛生・保護者支援・小学校との接続・キリスト教保育・保育実践・制度政策・危機管理と安全教育・マネジメント等】

2） 3歳未満児の豊かな育ちを保障する

3） 特別支援教育の充実と支援計画（特別支援コーディネーター）

4） キリスト教行事の推進と礼拝への招き（年間2～3回の家族礼拝と聖書の学び）

5） 生活習慣（食・睡眠・歯など）の確立と見直しの取り組み

6） 食育の充実（畑・味噌作りの継続・こどもが学ぶ体の仕組み等）

7） SDGs持続可能な開発目標（SUSTAĪNABLE DEVELOPMENT GOALS）
園児・職員の目標（質の高い教育・平和・人権教育を通しての保育教育を目指す）

**2020年度園児在籍数（予定）**【新入園児47 名・進級児123名総数170】

| 年 齢（号）・組名 | 新入園児 | 進級児 | 計 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 0歳児（3号） つぼみ | 3 | | 3 | 3(3) |
| 1歳児（ 〃 ） うめ | 5 | 5 | 10 | 10 |
| 2歳児（ 〃 ） もも | 2 | 9 | 11 | 17 |
| 子育て支援（2歳児）もも | 6 | 0 | 6 | |
| 3歳児（2号）さくら・たんぽぽ | 1 | 13 | 14 | 42 |
| 3歳児 （1号） | 23 | 5 | 28 | |
| 4歳児（2号） ばら・ゆり | 2 | 13 | 15 | 50 |
| 4歳児（1号） | 2 | 33 | 35 | |
| 5歳児（2号） きく・すみれ | 0 | 14 | 14 | 48 |
| 5歳児（1号） | 2 | 32 | 34 | |
| 合計 | 46 | 123 | 170 | 170 |

**1号・・・103名、2号・・・43名、3号・・・24名 （定員 180 名）**

# ２０２０年度　法人・事務部門事業計画

2020 年度からスタートする「学院中期計画」を根幹として、法人・事務部門は建学の精神や教育理念を理解し、現場の実情に合わせて主体的に考え、互いに協力しながら、共通の目標に向かって実践していけるコミュニケーション力のある人材の育成と体制づくりを行う。中長期的には将来を見据え、一人ひとりの自己成長が強い組織づくりの礎となることを共有し、各種研修や個人面談を織り交ぜながら、専門性及び資質の向上に向けた支援を行っていく。

具体的には共通目標と部門・部署及び個人目標を連動させ、P（計画）→D（実行）→C（評価）→A（改善）サイクルをまわしながら推進する。

**＜事務職員に求められる資質及び姿勢＞**

**【求められる資質】（意識面）**

① 建学の精神や教育理念についての深い理解と認識
② 教育事情や学校を取り巻く社会環境の変化と、それに伴う諸問題の認識
③ 費用対効果を意識した経営感覚

**【求められる姿勢】（行動面）**

① 環境変化に柔軟性をもって的確に対応すること。
② 学院の意思決定を効率よく連携して執行すること。
③ 創造的な発想により課題解決に取り組むこと。
④ コミュニケーション力（マネジメント力）を高めること。
⑤ 目標達成に向けて、使命感を持って取り組むこと。

## Ⅰ.基本方針

### 1.学院共通目標

#### (1)業務改善・効率化の推進

・業務改善・効率化、時間外縮減、計画的な年休取得、業務運営体制等を構築する。

#### (2)サービスの向上

・各部門、各部署、各個人で、自分（たち）がサービスする相手を明確にして、
どのサービスをどのように改善するか、目標を明確にして取り組む。

### 2.目標の視点

#### (1)時間管理を徹底するための方策

a） 業務改善における「管理性」、「業務効率」、「業務品質」、「コストダウン」の視点
b） 働き方の改革、時間管理体制（時間外の事前申請ルール等）の徹底

**(2)サービスの向上**

a) 学生／生徒／保護者へのサービス改善

b) 教職員へのサービス改善

c) 校友(卒業生、旧教職員など)へのサービス改善

d) 安全・安心の向上

e) 施設・設備の改善

**(3)事務職員に求められる資質及び姿勢の具現化**

事務部門全体としては、各職位に応じた能力と資質を身につけた人材を育成するために、能力及び業績評価のフィードバックを行い、自己成長を支援する。またSD(スタッフの能力・資質を向上させる研修、階層別・業務別研修等)、及びOJT(実務を通した育成)を織り込みながら、複数の業務領域における知識と経験を培い、バランスの取れた人材の育成に取り組んでいく。

**(4)共通に重視していくこと**

a) 校友(卒業生、旧教職員)を大切にすること。

b) 部門・部署間、学院内の交流・連携を促進すること。

c) ITを活用した業務の効率化を検討すること。

**Ⅱ.部門別主要施策**(詳細別紙)

**大学**

2020年度から大学事務部門を再編し、以下の事務業務の円滑な運営を実現する。

1.「働き方改革」への対応

(1)学生サービス担当部署と保護者等に対するサービス担当部署として、事務室をそれぞれ整備し、関連情報の共有を図る。

(2)時間外勤務の縮減、年次休暇等の計画的な取得を促す仕組みの構築。

2.「ビジョン2020(次期中期計画)」及び各年度計画の推進(学長室)

(1)教学マネジメント(学長ガバナンス)への支援、教育改善等への対応(教務課)

(2)入試制度改革への対応(入試課)

(3)学生の迷いとやる気に寄り添う支援(学生支援課)

(4)グローバル化・地域連携の取組強化、ホームページの充実(総務課)等

3.教職協働の推進

中期計画・年度計画の推進、情報公開の対応等に必要な根拠資料等の見える化(DB化)

**中学・高校**

1. 業務の習熟

（1）窓口応対、電話応対などのサービス向上

（2）授業料徴収、会計処理等各種業務の改善・効率化

2. 補助金の獲得に向けて、計画的に改善

3. 広報・入試事務業務の見直し

4. 清掃・営繕等定期的な施設点検、早期修繕の実施

**こども園**

1. 予算目標の確保

（1）収支計画及び補助金計画の立案・実行

2. 働き方改革への取り組み

（1）業務改善・効率化、自覚的な労働時間管理、保育業務等の質の向上

**法人**

1. 創立 100 周年に向けて、戦略的な情報発信を行う。

2. 事務職員の専門性や資質の向上を図り、教職協働体制を構築する。

3. 安定した経営基盤を構築する。

4. 選択と集中による施設整備の充実を図る。

5. ステークホルダーとの連携を深め、ルーテルブランドを高める。

# 2020（令和2）年度　事務部門目標

【別　紙】　　2020/3/10

**事務共通部門**

**1. 業務改善・効率化の推進**
**・業務改善・効率化、時間外縮減、年休取得等の業務運営体制を構築する。**
**2. サービスの向上**
**・サービスの相手を明確にして改善目標に取り組む。**

**大学**

２０２０年度から大学事務部門を再編し、各課の業務分掌を明確化することにより、職員の業務に対する意識・能力の向上を図る。また、この取組を通じて、次に掲げる事務業務の円滑な運営を実現する。
1.「働き方改革」への対応
(1)学生サービス担当部署（教務課・学生支援課）と保護者等に対するサービス担当部署（入試課・総務課）として、事務室をそれぞれ整備し、関連情報の共有を図る。これにより、業務の効率化・簡素化を実現し、時間外勤務を前年度比２００万円削減する。
(2)時間外勤務の縮減、シフト勤務等を通じて、年次休暇等の計画的な取得を促す仕組みを構築する。
2.「ビジョン２０２０（次期中期計画）」及び各年度計画の推進（学長室）
(1)教学マネジメント（学長ガバナンス）への支援
高等教育のグランドデザイン答申、教学マネジメント指針等で求められる教育改善等への対応（教務課）
(2)入試制度改革への対応（入試課）
(3)学生の迷いとやる気に寄り添う支援（学生支援課）
(4)グローバル化・地域連携の取組強化、ホームページの充実（総務課）等
3.教職協働の推進
中期計画・年度計画の推進、情報公開の対応等に必要な根拠資料等の見える化（ＤＢ化）　（各課共通）

**中学・高校**

1. 業務の習熟
(1)窓口応対、電話応対などのサービス向上
(2)授業料徴収、未納者削減
(3)会計処理の効率化、クラス費処理の把握と年度末徴収削減
(4)進路事務の定着、課外費集計の改善
(5)教育機器備品の操作
2. 補助金の獲得に向けて、計画的に改善
3. 広報・入試事務業務
(1)HPの更新など広報活動への事務的業務の見直し
4. 清掃・営繕
(1)「きれいな学校・安全な教育環境」を目指し、定期的な施設点検と美化活動、早期修繕の実施

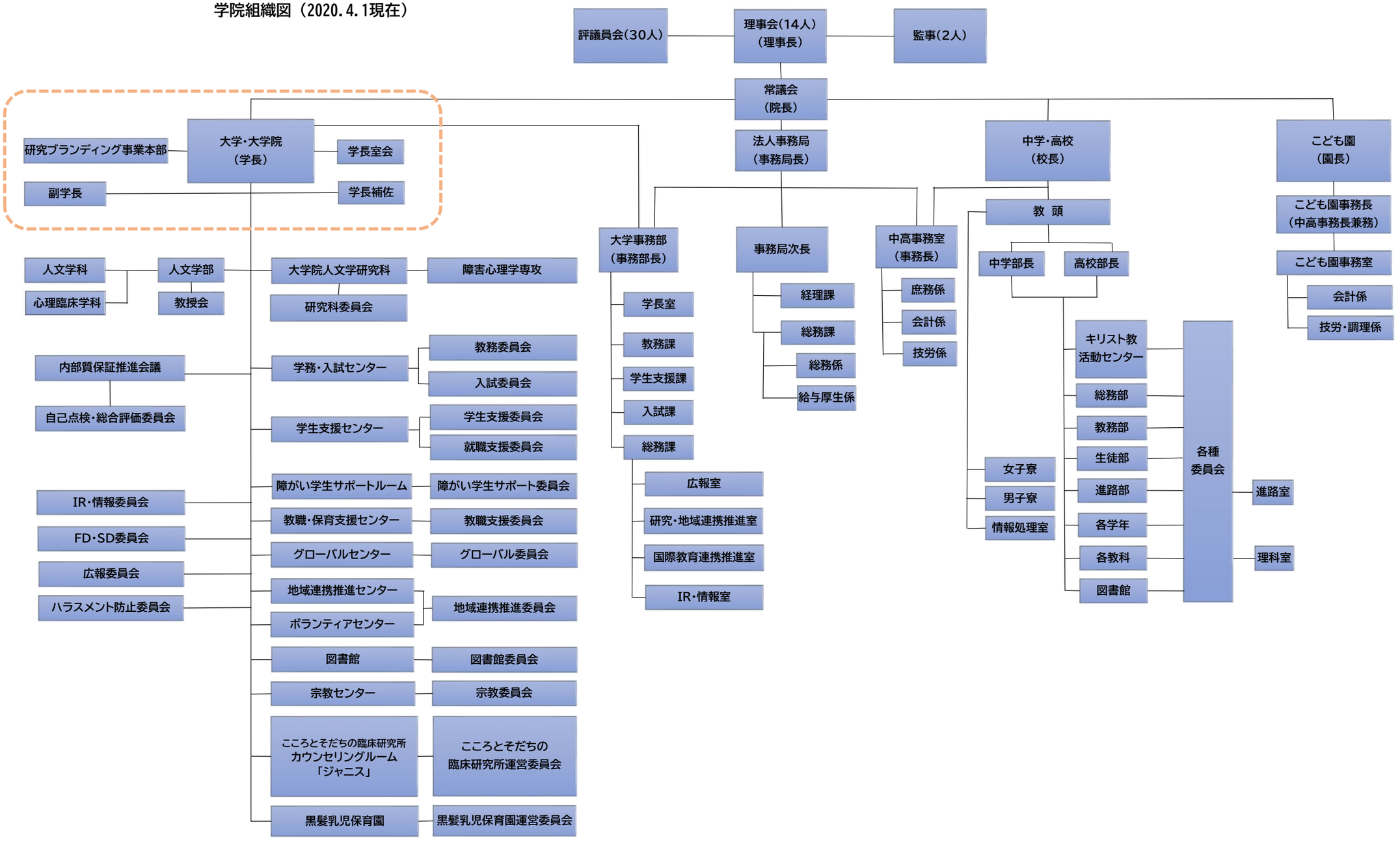
**こども園**

1. 予算目標の確保
(1)職員1名の増員、2号定員6名増加、入園児の納付金などの新しい収支の計画立てと、補助金申請の計画を立て、実行する。
2. 働き方改革への取り組み
(1)業務改善、園児管理、計画、記録など保育業務に積極的にキッズビューを活用し、効率化に努める。
(2)出退勤カード導入による自覚的な労働時間管理と、時間外労働の縮減。
(3)自己評価（見直し）により、保育業務等の質の向上を目指す。

**法人事務局**

1. 創立100周年に向けて、戦略的な情報発信を行う。
2. 事務職員の専門性や資質の向上を図り、教職協働体制を構築する。
3. 安定した経営基盤を構築する。
(1)財務の現状を共有し、全学的な協力体制の下で取り組む。
(2)外部資金（補助金・寄付金等）を積極的に獲得する。
(3)法人運営の強化に向けた役員への支援体制を構築する。
4. 選択と集中による施設設備の充実を図る。
5. ステークホルダーとの連携を深め、ルーテルブランドを構築する。

# 学院組織図（2020.4.1現在）



# 法　人　組　織　（案）

2020（令和2）年4月1日現在

## 理事会

| | |
|---|---|
| 理事長 | 福田　邦子 |
| 理事 | 内村　公春 |
| 理事 | 広渡　純子 |
| 理事 | 谷　美和 |
| 理事 | 内田　正秋 |
| 理事 | 坂根　信義 |
| 理事 | 潮谷　愛一 |
| 理事 | 角本　浩 |
| 理事 | 長岡　立一郎 |
| 理事 | 山口　初子 |
| 理事 | 九谷　晶子 |
| 理事 | 谷口　美樹 |
| 理事 | 石原　靖也 |
| 理事 | 柴田　賢示 |

以上　14名

| | |
|---|---|
| 監事 | 河﨑　隆夫 |
| 監事 | 寺本　行義 |

以上　2名

## 評議員会

| | |
|---|---|
| 評議員 | 福田　邦子 |
| 評議員 | 内村　公春 |
| 評議員 | 広渡　純子 |
| 評議員 | 谷　美和 |
| 評議員 | 内田　正秋 |
| 評議員 | 坂根　信義 |
| 評議員 | 潮谷　愛一 |
| 評議員 | 角本　浩 |
| 評議員 | 長岡　立一郎 |
| 評議員 | 山口　初子 |
| 評議員 | 栗原　裕子 |
| 評議員 | 金戸　清高 |
| 評議員 | 西山　慎一郎 |
| 評議員 | 濱﨑　庸一 |
| 評議員 | 松本　充右 |
| 評議員 | 田中　マリ子 |
| 評議員 | 谷口　美樹 |
| 評議員 | 八田　智子 |
| 評議員 | 九谷　晶子 |
| 評議員 | 前田　智子 |
| 評議員 | 森本　和幸 |
| 評議員 | 永江　浩子 |
| 評議員 | 福田　丈人 |
| 評議員 | 梅田　美佳 |
| 評議員 | 石原　靖也 |
| 評議員 | 柴田　賢示 |
| 評議員 | 梅元　昭宏 |
| 評議員 | 俵　　恭子 |
| 評議員 | 松尾　正一 |
| 評議員 | 石居　基夫 |

以上　30名

# 教 職 員 組 織

2020(令和2)年4月1日 予想

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 大学付属<br>黒髪乳児保育園 | 園長 | 1 名 | | 非常勤栄養士 | 1 名 |
| | 主任 | 1 名 | | 非常勤調理師 | 1 名 |
| | 保育士 | 8 名 | | 非常勤調理員 | 1 名 |
| | 臨採保育士 | 0 名 | | 非常勤看護師 | 1 名 |
| | 非常勤保育士 | 4 名 | | | |
| 認定こども園<br>ルーテル学院幼稚園 | 園長 | 1 名 | | 事務長 | 1 名 (兼) |
| | チャプレン | 1 名 | (兼) | 体育 | 2 名 (兼) |
| | 教頭 | 1 | | 英語 | 1 名 (兼) |
| | 主幹保育教諭 | 1 名 | | 養護 | 1 名 (兼) |
| | 保育教諭 | 9 名 | | 事務 | 1 名 |
| | 非常勤保育教諭 | 11 名 | | 非常勤調理員 | 4 名 |
| | 子育て支援員 | 2 名 | | | 名 |
| | 非常勤看護師 | 2 名 | | 用務 | 1 名 |
| | 栄養士 | 1 名 | | | |
| ルーテル学院中学校 | 部長 | 1 名 | | 事務職員 | 0 名 |
| | 教諭 | 8 名 | | 嘱託職員 | 2 名 |
| | 臨採教諭 | 4 名 | | | |
| | 非常勤講師 | 5 名 | | | |
| | 非常勤教諭助手 | 4 名 | | | |
| ルーテル学院高等学校 | 校長 | 1 名 | | 事務長 | 1 名 |
| | チャプレン | 1 名 | | 事務職員 | 4 名 |
| | 教頭 | 1 名 | | 嘱託職員 | 3 名 |
| | 部長 | 1 名 | | 実習助手 | 1 名 |
| | 教諭 | 43 名 | | 技労職員 | 2 名 |
| | 司書教諭 | 1 名 | | 寮嘱託職員 | 2 名 |
| | 養護教諭 | 2 名 | | 寮非常勤職員 | 4 名 |
| | 専任講師(J3) | 3 名 | | 非常勤職員 | 4 名 |
| | 臨採教諭 | 6 名 | | | |
| | 非常勤講師 | 21 名 | | | |
| 九州ルーテル学院大学<br>人文学部 | 学長 | 1 名 | | 事務部長兼学長室長 | 1 名 |
| | チヤプレン | 1 名 | | 事務職員 | 15 名 |
| | 副学長 | 2 名 | | 募集コーディネーター | 1 名 |
| | 学長補佐 | 3 名 | | 技労職員 | 1 名 |
| | 教授 | 16 名 | (学長・副学長・補佐含む) | 非常勤職員 | 6 名 |
| | 准教授 | 16 名 | (学長補佐含む) | | |
| | 講師 | 3 名 | (チャプレン含む) | | |
| | 助教 | 1 名 | | | |
| | 兼任講師 | 72 名 | | | |
| 九州ルーテル学院大学<br>大学院研究科 | 教授 | 0 名 | | 兼担講師 | 9 名 |
| | 兼任講師 | 6 名 | | | |
| 法人事務局 | 事務局長 | 1 名 | | 事務職員 | 6 名 |
| | 嘱託職員 | 2 名 | | 非常勤職員 | 1 名 |

# 園児・生徒・学生数

2020(令和2)年4月1日　予想

| 学校 | 学年 | クラス数 | 園児・生徒・学生数(内男子数) | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 大学付属黒髪乳児保育園 | 0歳児(つぼみ) | 1 | 1 | | (1) |
| | 1歳児(すみれ) | 1 | 13 | | (5) |
| | 2歳児(たんぽぽ | 1 | 10 | | (5) |
| | 3歳児(さくら) | 1 | 6 | | (1) |
| | 計 | 4 | 30 | | (12) |
| 認定こども園ルーテル学院幼稚園 | 0歳児 | 1 | 3 | | 0 |
| | 1歳児 | 1 | 10 | | (5) |
| | 2歳児 | 1 | 17 | | (7) |
| | 3歳児 | 2 | 42 | | (27) |
| | 4歳児 | 2 | 50 | | (20) |
| | 5歳児 | 2 | 48 | | (23) |
| | 計 | 9 | 170 | | (82) |
| ルーテル学院中学校 | 1年 | 3 | 80 | | (40) |
| | 2年 | 2 | 88 | | (48) |
| | 3年 | 2 | 74 | | (44) |
| | 計 | 7 | 242 | | (132) |
| ルーテル学院高等学校 | 1年 | 8 | 320 | | (110) |
| | 2年 | 9 | 284 | | (95) |
| | 3年 | 8 | 313 | | (110) |
| | 計 | 25 | 917 | | (315) |
| 大学 | | | 人文学科 | 心理臨床学科 | 計 |
| | 1年 | 8 | 98 | 68 | 166 |
| | 2年 | 8 | 106 | 85 | 191 |
| | 3年 | 9 | 106 | 73 | 179 |
| | 4年 | 9 | 112 | 81 | 193 |
| | 計 | 34 | 422 | 307 | 729 |
| | 長期履修学生 | | 0 | 5 | 5 |
| | 科目等履修生 | | | | 3 |
| | 研究生 | | | | 0 |
| | 大学院 | | | | 9 |

**各学校事業及び行事予定**（2020年4月1日～2021年3月31日）

| | 九州ルーテル学院大学 | ルーテル学院中学・高等学校 |
|---|---|---|
| 4月 | ・入学式、１年次生保護者会<br>・新入生オリエンテーション<br>・フレッシュマンキャンプ（新入生歓迎オリエンテーション）<br>・前期開講 | ・男女入寮式<br>・始業式<br>・入学式、新入生オリエンテーション<br>・内科検診<br>・中学１年生修養会<br>・中学歓迎遠足<br>・防災訓練<br>・奨学生激励会 |
| 5月 | ・チャペルゲストマンス<br>・学生支援懇談会<br>・新入生歓迎スポーツデー | ・体育大会<br>・ＰＴＡ総会、懇親会<br>・中学授業参観<br>・高校３年生進路説明会<br>・高校総体・総文（5/29～） |
| 6月 | ・大学説明会 | ・中学・高校前期中間考査<br>・GTEC受験 |
| 7月 | ・コンソーシアム進学ガイダンスセミナー<br>・公開講座<br>・第１回オープンキャンパス | ・高１、高２年生カリキュラム説明会<br>・高校第１回オープンキャンパス<br>・キリスト教伝道講演<br>・大掃除、全校集会<br>・中学サマースクール |
| 8月 | ・前期定期試験・まとめ期間<br>・大学院説明会<br>・リカレント教育<br>・保育コース合宿<br>・教員免許状更新講習<br>・公開講座<br>・FD・ＳＤ研修会<br>・第２回オープンキャンパス<br>・追・再試験<br>・長期履修学生選抜<br>・異文化体験学修 | ・私学教育一斉研修<br>・大掃除、全校集会<br>・留学制度説明会<br>・韓国研修旅行<br>・ミッションクリーン |
| 9月 | ・サマーキャンプ<br>・秋季卒業式・入学式<br>・コンソーシアムSD研修<br>・公開講座<br>・ペプ・ラリー<br>・和水こどもフェティバル<br>・学生支援懇談会<br>・後期開講 | ・高校第２回オープンキャンパス<br>・中学体験学習<br>・中学・高校前期期末考査<br>・GTEC受験<br>・4地区合同保護者会 |
| 10月 | ・Campas Visit＆Try<br>・公開講座<br>・大学院入学試験<br>・第３回オープンキャンパス（個別相談会）<br>・こどもフェスティバル | ・秋期休業<br>・創立記念日<br>・後期始業の辞<br>・学院祭<br>・ルーテル学院音楽会 |
| 11月 | ・フィリア祭<br>・ホームカミングデー<br>・指定校・併設校推薦型選抜<br>・公開講座<br>・奨学金給付型・一般学校推薦型選抜 | ・ホームカミングデー<br>・中学・高校入試直前アドバイス会<br>・中学・高校後期中間考査 |
| 12月 | ・クリスマス礼拝<br>・クリスマス祝会<br>・プレ・カレッジ | ・大掃除、全校集会<br>・クリスマス礼拝、キャロリング<br>・中学入試（専願・奨学前期）<br>・中学２年研修旅行 |
| 1月 | ・大学入学共通テスト<br>・後期試験・まとめ期間 | ・大掃除、全校集会<br>・中学入試（一般前期・奨学後期）<br>・高校入試（専願・奨学、実技）<br>・高校１年研修旅行 |
| 2月 | ・一般Ⅰ期・外国人・編入学選抜<br>・卒業研究発表<br>・大学入学共通テスト試験利用選抜<br>・学位論文最終試験<br>・追・再試験<br>・教職赴任前研修会<br>・異文化体験学修 | ・中学入試（一般後期）<br>・高校入試（一般）<br>・中学入学者登校日<br>・中学・高校後期期末考査<br>・高校卒業礼拝・卒業式 |
| 3月 | ・一般Ⅱ期、長期履修学生選抜<br>・学位授与式、Farewell Party<br>・兼任講師懇談会<br>・合格者招集日<br>・在学生オリエンテーション | ・高校2年生修養会<br>・中学卒業礼拝・卒業式<br>・大掃除、全校集会<br>・高校入学者登校日<br>・芸術コース演奏会<br>・中学３年生海外語学研修旅行<br>・アメリカ研修旅行 |

**各学校事業及び行事**（2020年4月1日～2021年3月31日）

| | 認定こども園ルーテル学院幼稚園 | 大学付属黒髪乳児保育園 | 学院全体 |
|---|---|---|---|
| 4月 | ・入園式<br>・新学期始園式<br>・入園感謝親子礼拝<br>・お見知り遠足 | ・新学期始園式<br>・入園式<br>・お見知り遠足<br>・保護者会 | ・辞令交付式<br>・新任教職員オリエンテーション<br>・学院歓迎会<br>教職員健康診断・胃検診 |
| 5月 | ・母の日礼拝<br>・こひつじの会（未就園児） | ・個人面接<br>・内科検診<br>・なかよし保育（未就園児） | ・決算会計監査<br>・監事監査<br>・理事会・評議員会 |
| 6月 | ・保育参観<br>・花の日礼拝 | ・運動会<br>・保護者クッキング | |
| 7月 | ・お泊り保育<br>・1学期終園式 | ・七夕、夏祭り（地域老人会との交流）<br>・プール開き | |
| 8月 | ・夏期保育<br>・長期休暇預かり保育 | ・プール参観 | |
| 9月 | ・2学期始園式<br>・祖父母お祝い会 | ・プール納め<br>・祖父母との集い | ・理事会・評議員会<br>・会計士と理事者とのコミュニケーション |
| 10月 | ・運動会<br>・バザー（保護者会主催） | ・こどもフェスティバル参加<br>・ニンジンクラブ運動会（黒髪地区）<br>・個人面談 | ・創立記念日<br>・学院研修会 |
| 11月 | ・新年度入園児願書受付<br>・芋ほり遠足<br>・子ども祝福礼拝<br>・収穫感謝礼拝<br>・お泊り保育 | ・勤労感謝訪問<br>・芋ほり<br>・団子汁会（地域老人会との交流）<br>・内科検診・歯科検診<br>・子ども祝福礼拝 | ・ホームカミングデー<br>・監事監査 |
| 12月 | ・2学期終園式<br>・クリスマス礼拝<br>・年長組家族礼拝 | ・クリスマス会<br>・老人会との交流会<br>・終園式 | ・理事会・評議員会<br>・教職員クリスマス礼拝<br>・全職員研修会<br>・クリスマスイルミネーション点灯式<br>・半期監査 |
| 1月 | ・3学期始園式<br>・年中組家族礼拝 | ・始園式 | ・教職員新年礼拝 |
| 2月 | ・保育参観（だご汁）<br>・観劇会 | ・豆まき<br>・保育参加<br>・保護者向け講演会 | ・会計士と理事者とのコミュニケーション |
| 3月 | ・卒園感謝礼拝（室園教会）<br>・卒園式<br>・終園式 | ・ひな祭り<br>・お別れパーティー<br>・卒園式 | ・理事会・評議員会 |

定例行事
・避難訓練（毎月）
・体重測定（毎月）

定例行事
・災害安全訓練（毎月）
・身長、体重測定（毎月）
・安全教育（毎月）
・誕生会（毎月）
・なかよし保育（毎週火曜日）